

薬科機器通信「やげん」

PHARMACEUTICAL EQUIPMENT & MACHINERY NEWS

展示会情報

8/31(土)～9/1(日)

日本病院薬剤師会関東ブロック 第43回学術大会 付設薬科機器展示会

9/15(日)～16(祝)

第75回 九州山口薬学大会 付設薬科機器展示会

新製品情報

【国内】

- ▶ 実験室用小型ドライ真空ポンプ
- ▶ 条件検討用キラルTLC
- ▶ ラックオン精密分注機
- ▶ PTPシート全自動薬剤払出機
- ▶ 選択的なサンプル抽出システム
- ▶ 薬剤監査支援システム
- ▶ 光安定性試験器
- ▶ 病院版ピッキングサポートシステム

【海外】

- ▶ インテリジェントCO₂センサ
- ▶ 高速遠心機シリーズ
- ▶ マイクロプレートシーラー
- ▶ 大容量サンプル保存用チューブ



高い収容力=少ない充填頻度で真の自動化!

全自動PTPシート払出装置

- 現場の実運用を充足するMAX210カセット搭載
- 1カセット平均約40シート収納^(※)で充填作業効率にも配慮
- 端数錠も専用ユニット不要の本体内部で自動カット払い出し
- カプセル、ウィークリーシート等各種PTPシートにも対応
- ピッキングサポートシステム「NEW PORIMS」との連携で手払い出し分も含めた全採用シート薬のチェック可能
- 束払出ユニット装着で長期処方にも対応

※シートの厚みによって異なります

束払出ユニット
装着タイプ



調剤自動化

終わりの始まり

ユヤマのロボット技術で調剤業務自動化のルネッサンス~その最終章の幕が開きます。

散薬の分包機に始まり、あらゆる調剤機器の開発に携わってきたユヤマ。ついに、その自動化の領域は処方のお大半を占めるPTPシートと、他剤形と異なる作業が必要な水剤にまで及びます。「調剤自動化の終わりの始まり」を、リーディングカンパニーとして一味違う工夫を施した新商品リリースで宣言します。

全自動水剤分注装置

AQUA-ROBO

投薬瓶セット不要で真の全自動化!

全自動水剤分注装置

- 約89%の施設が満足するMAX20品目の水薬搭載^(※)
- あらかじめセットした投薬瓶から最適サイズを自動選択&自動分注
- ノズルやポンプ等の水剤経路の自動洗浄でコンタミ・雑菌繁殖も抑制
- 沈澱・分離しやすい水薬も攪拌機能で自動分注対応
- 複数薬の混合や賦形剤の希釈にも自動化対応

※病院・薬局を問わず実施した計172施設への弊社独自調査より

水剤自動分注の
フラッグシップ



水剤分注機

miniAQUA

もっとコンパクトに、もっと手軽に。10薬品を自動分注!

水剤分注機

- セットした投薬瓶を自動分注
- 沈澱・分離しやすい水薬も攪拌機能で自動分注対応
- 自動洗浄&ブロー機能でいつも清潔な調剤環境を実現
- 複数薬の混合や賦形剤の希釈にも自動化対応
- 冷所装置ユニットで、水薬の搭載を幅広く対応

※冷所装置ユニットはオプションになります。

卓上でも使える
コンパクトタイプ



製造元 株式会社

発売元 株式会社

湯山製薬所 **ユヤマ**

本社 〒561-0841 豊中市名神口3丁目3番1号

TEL. (06) 6332-2556 (代) FAX. (06) 6333-1971

<http://www.yuyama.co.jp>

Home Page
<http://www.yuyama.co.jp>
無償プレゼント実施中!
「開局でお手伝いできること」
「無菌製剤室を作ろう!」



※ISO9001は(株)湯山製薬所のみ、ISO14001は(株)湯山製薬所・岡山工場のみ、プライバシーマークは(株)ユヤマのみの取得となります。



「創意工夫と変わらぬ思いを大切に」

これまで我が社の創業は大正8年とされてきました。残念ながら、当時のことを確認できる資料や商品も残っておらず「硝子製品を扱い、哺乳瓶の特許を持っていた」ということだけが伝えられてきました。ところが、原稿を執筆するにあたり調査をしたところ、弊社の沿革を書き直さなくてはならない事態となりました。少ない情報をもとに発見できた資料によると、明治40年にはすでに神田須田町にて創業者 初代植木雄飛が「哺乳器消毒壺間屋」なるものを営んでいたことがわかりました。少なくとも、創業百有余年ということになります。

また、明治40年に上野公園で東京勸業博覧会が開催されたころに出版された「東京模範商工品録」には、「植木式特許栓」なるものを植木雄飛が発明したとして製品が



▲「婦人画報」明治43年9月号に掲載した広告

紹介されていました。衛生面を重視して考えられた栓で簡単にいうと「密閉キャップ」といったところでしょうか。簡便哺乳器・牛乳消毒瓶・薬瓶・化粧瓶等に採用され専売特許販売をしていたようです。現場の声を聞き、安心・安全にこだわった製品作りを志してきた弊社の原点は、創業者の思いの継承であったことを確信できる結果となりま

した。平成13年誤飲防止用として処方薬用投薬瓶にチャイルドレジスタンスキャップを採用し「セーフティキャップ付投薬瓶」の開発を後押ししたのも、その思いだったのかもしれない。



▲セーフティ投薬瓶の説明

戦後、「植木商店」は神田から新宿区高田馬場に移りました。昭和30年代半ばには、プラスチック容器の普及に伴い処方薬用容器を中心に商品開発をいたしました。同時に軟膏容器や投薬瓶に名入れ印刷をしての販売も始めました。昭和38年頃にはユニパック（チャック付ポリ袋）を薬袋としていち早く採用し販売を開始いたしました。これらの商品は、現在も弊社の主要品目であることに変わりはありません。

昭和40年に社名を変更し、「株式会社金鷄製作所」となり来年50期を迎えます。あまり使われない漢字なので、よく読み方や社名の由来を聞かれます。金鷄とは「日本書紀」に出てくる金色のトビ（鷄）のことらしいのですが、何故社名に選んだのかは残念ながら不明です。

平成2年に本社を文京区湯島に移転し、現代表は4代目となります。医療・介護の分野において制度や流通の変化に伴い様変わりをしていく側面はあると思いますが、創意工夫のもと変わらぬ思いを込めて商品をご提供し続けたいと思っております。

■ホームページ <http://www.kinshi.co.jp>

薬科機器通信「やげん」

PHARMACEUTICAL EQUIPMENT & MACHINERY NEWS



5月号 表紙デザイン

インフルエンザウィルスの3Dイラストイメージ

5月号 目次

会員紹介 15	1
「創意工夫と変わらぬ思いを大切に」 株式会社金鷄製作所	
展示会情報	2～3
新製品情報(国内)	4～5
新製品情報(海外)	6～7
エッセイ	8～9
「我が家で麻薬を発見—業務課職員の査察を自宅で受けた!?!—」 恩賜財団 済生会横浜市東部病院 薬剤部 課長 菅野 浩	
事業報告	10～13
日本薬学会第133年会併催展示会 第34回 日本病院薬剤師会 近畿学術大会 付設薬科機器展示会 研修会を開催しました 製品開発リクエストシートより	
新製品情報掲載と広告募集について	14
ホームページから最新情報を入手できます!	14
事務局報告 お知らせします/諸会議報告	15
事務局日誌	16
編集後記	16

展示会情報



平成25年8月31日(土)～9月1日(日)

日本病院薬剤師会関東ブロック 第43回学術大会
付設薬科機器展示会

【会場】新潟・朱鷺メッセ

【住所】〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1

【電話】025-246-8400

【アクセス】JR新潟駅 万代口から
バス約15分(朱鷺メッセ下車)



▲第42回 横浜大会の様子(高校生ツアー)



▲新潟・朱鷺メッセ



平成25年9月15日(日)～16日(祝)

第75回 九州山口薬学大会
付設薬科機器展示会

【会場】佐賀・佐賀県総合体育館

【住所】〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出1-21-15

【電話】0952-32-2131

【アクセス】JR佐賀駅から徒歩約15分



▲第73回 沖縄大会の様子



▲佐賀県総合体育館



平成25年9月21日(土)～22日(日)

第23回 日本医療薬学会年会
併催薬科機器展示会

【会場】仙台・東北大学 川内北キャンパス

【住所】〒980-8576 仙台市青葉区川内41

【電話】022-717-7800

【アクセス】JR仙台駅から市営バス約15分
(東北大川内キャンパス・
萩ホール前下車)



▲第22回 新潟大会の様子



▲仙台・東北大学
※川内キャンパス内の紅葉



平成25年9月22日(日)～23日(祝)
第46回 日本薬剤師会学術大会
付設薬科機器展示会

【会場】 大阪・大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

【住所】 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51

【電話】 06-4803-5555

【アクセス】 京阪電中之島線 中之島(大阪国際会議場)駅から徒歩約2分
JR大阪環状線 福島駅から徒歩約10分



▲大阪・大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)



平成25年10月26日(土)～27日(日)
第52回 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会
中国四国支部学術大会 付設薬科機器展示会

【会場】 松山・松山大学 文京キャンパス

【住所】 〒790-8578 愛媛県松山市文京町4-2

【電話】 089-925-7111

【アクセス】 伊予鉄道環状線 鉄砲町駅から徒歩約5分
JR松山駅からタクシー約10分



▲松山・松山大学 文京キャンパス



平成25年11月10日(日)
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部
合同学術大会2013 付設薬科機器展示会

【会場】 鈴鹿・鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス

【住所】 〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町3500-3

【電話】 059-340-0550

【アクセス】 近鉄名古屋線 白子駅から三重交通バス約5分



▲鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス



平成26年2月1日(土)～2日(日)
第35回 日本病院薬剤師会近畿学術大会
付設薬科機器展示会

【会場】 京都・国立京都国際会館

【住所】 〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

【電話】 075-705-1234

【アクセス】 JR京都駅から市営地下鉄烏丸線 国際会館駅から徒歩約5分



▲京都・国立京都国際会館



平成26年3月28日(金)～30日(日)
日本薬学会第134年会
併催展示会

【会場】 熊本・熊本市総合体育館

【住所】 〒862-0941 熊本市中央区出水2-7-1

【電話】 096-385-1010

【アクセス】 熊本市電健軍線 市立体育館前電停から徒歩約5分



▲熊本・熊本市総合体育館

NEW

実験室用小型ドライ真空ポンプ/ コンプレッサー VPシリーズ

小型ドライ真空ポンプは濾過効果と脱気効果を向上させ主に実験室の補助設備として使われます。濾過物の汚染を防止するためダイヤフラムを使用し、真空の到達度は0.08MPaです。(一段式)



<特長>

- ・高効率な設計で低騒音です。
- ・圧力のコントロールに優れています。
- ・真空隔膜は油に強く、疲労しにくいゴムを使用し、さらに3mm程度の厚さの紡織骨組を堅固に挟んでいきますので長寿命です。
- ・オイルを使用しないクリーン設計です。

入江株式会社

TEL : 03-3241-7101 FAX : 03-3241-7659
URL : <http://www.irie.co.jp>
e-mail : r.son@irie.co.jp

このページに掲載ご希望の方は、**日本薬科機器協会** ☎03-3407-8831 までお問い合わせください。会員の掲載は無料です。

NEW

条件検討用キラルTLC『2L-ChiralTLC®』

キラルTLCプレート「2L-ChiralTLC®」を発売しました。「2L-ChiralTLC®」はアルミ板を支持板とし、キラルセクターとシリカゲルの2層構造です。この2層構造により、キラルセクターで光学分割されたスポットを、UVランプで手軽に検出できます。2L-ChiralTLC®のサイズは10cm×20cmで、用途に応じた幅にカットして使用できます。

耐溶剤タイプのIA、IC、ID、IFの4品種の2L-ChiralTLC®を発売します。中圧用キラルカラムCHIRALFLASH® IA、IC、ID、IFの分取条件検討用としてご活用ください。



株式会社ダイセル

TEL : 03-6711-8222 FAX : 03-6711-8228
URL : <http://www.daicelchiral.com>
e-mail : chiral@jp.daicel.com

NEW

ラックーン精密分注機DR-2型

ラックーン精密分注機DR-2型は、ローラーが回転することにより、ローラーがシリコンチューブを押ししごき送液するチューブポンプ式の分注機で、洩れや異物混入が無く、製剤作業に便利です。薬液の標準分注に加え、フィルターろ過分注、坐薬分注、シリンジ分注を可能にしました。従来の精密分注機に比べ分注の精度も高く、設定もカラータッチパネルと内蔵コンピュータで行い、またチューブの取り付け取り外しも簡単です。電子秤連動の重量式精密分注装置DR-2-S型、パルスモーター採用の小容量精密分注装置DR-2-SP型も同時に発売しました。



三田理化工業株式会社

TEL : 06-6458-0971 FAX : 06-6458-2393
URL : <http://www.racoon.co.jp>
e-mail : info@racoon.co.jp

NEW

PTPシート全自動薬剤払出機 Tiara(ティアラ)ハーフシートユニット

新薬やジェネリック医薬品により、ますます増える傾向にある採用薬数。この問題にフレキシブルに対応できるよう、Tiaraにハーフシートユニットが新たに加わりました。シートユニットの本体幅が従来ユニットの約3分の2である600mmになり、設置スペースの関係で導入をあきらめていたお客様へご検討いただけるようになっただけでなく、すでに導入いただいているお客様にも、今まで以上に自由度の高いユニットの組み合わせの提案が可能となりました。また、コンパクトサイズながら、十分な薬剤搭載能力を備えています。



高園産業株式会社

TEL : 03-3578-3700 FAX : 03-3578-3710
URL : <http://www.solno.co.jp>
e-mail : takazono@solno.co.jp

NEW

高速で、環境にやさしい、選択的なサンプル抽出方法 MV-10 ASFEシステム

MV-10 ASFE システムは、これまでの抽出方法よりも高速で、環境にやさしく、多種多様なサンプルマトリックスに対して選択的な抽出を実現する超臨界流体抽出システムで、医薬品、天然物、香料、食品、ポリマー、化粧品など幅広いアプリケーションに対応しています。有機溶媒を用いる抽出法に比べ、有機溶媒購入コストと廃液処理にかかるコストを削減できます。実用面においては、抽出物が少量の溶媒に捕集されるため、抽出後の溶媒を気化させる時間を短縮出来ます。また、有機溶媒の使用を削減することにより作業を行う研究者の健康への影響と環境への負荷を低減します。



日本ウォーターズ株式会社

TEL : 03-3471-7191 FAX : 03-3471-7118
 URL : <http://www.waters.com>
 e-mail : jp_info@waters.com

NEW

薬剤監査支援システムATTELNO (アテルノ)

調剤過誤の発生要因の大半は、調剤中の確認ミスや判断ミスなどのヒューマンエラーに起因しています。そこで、「薬剤師の方が監査をする際に、機械での監査も並行出来ればミスを減らせるのではないか」という考えを膨らませ、1台で薬剤の取り間違い・薬剤の規格間違い・数量間違いを1錠単位レベルでチェックが可能なシステムをコンセプトとして生み出されたのが『薬剤監査支援システム ATTELNO』です。ATTELNOは、カメラ・バーコードリーダー・電子天秤で構成されており、画像・バーコード・計量の3つの「電子の目」を薬剤師さまの監査業務にプラスすることで、人と機械のダブルチェック体制を構築し、安全性の大幅な向上が見込めます。



高園産業株式会社

TEL : 03-3578-3700 FAX : 03-3578-3710
 URL : <http://www.solno.co.jp>
 e-mail : takazono@solno.co.jp

NEW

光安定性試験ガイドラインに対応 光安定性試験器PTH-400NC1

Bio&Cleanの日本医化器械製作所は、機能性と利便性を向上させた光安定性試験機PTH-400NC1を新発売しました。光安定性試験ガイドラインに準拠したD65放射基準対応光源を標準装備しています。大容量の回転試料台は引き出し可能で、試験対象物の設置も容易、均一な光照射とセンサにより精度の高い照度制御が可能。操作パネルは、液晶タッチパネルで対話方式により、プログラムの入力も簡単。ハイブリット記録計も装備しており、温度、湿度、照度、紫外線強度を連続モニタリングができ、さまざまな保存試験に適しています。



株式会社日本医化器械製作所

TEL : 06-6443-0712 FAX : 06-6445-7641
 URL : <http://www.nihonika.co.jp>
 e-mail : info@nihonika.co.jp

NEW

計数調剤の取り間違いをチェック 病院版「Hp-PORIMS」

薬品の取り間違いが調剤インシデント、ヒヤリハット事例の大部分を占めているのは周知の通り。特に病院薬剤部では内服薬だけではなく、注射薬も取り扱うため、その間違いは重大事故へ直結します。そこで、ユヤマでは計数調剤における薬品ピッキング時にハンディターミナルで QRコードを照合するだけの簡単操作で、薬品の取り間違いを未然防止する病院版ピッキングサポートシステム「Hp-PORIMS」を開発しました。通常業務はもとより、夜間・休日や病棟業務進出による少人数での調剤体制化においても、安心・安全の計数調剤環境を実現できる商品です。



株式会社ユヤマ

株式会社湯山製作所
 TEL : 06-6332-2580 FAX : 06-6333-2135
 URL : <http://www.yuyama.co.jp>
 e-mail : info@yuyama.co.jp

NEW

インテリジェントCO₂センサ

正確で信頼性の高い溶存CO₂濃度測定能とインテリジェントセンサマネジメント (ISM) 技術による優れた性能とを併せ持つ新型のCO₂センサIn Pro5000iはエラーのない測定と診断法でメンテナンスが必要な時期を予測するので、プロセスの安全性が向上します。発酵媒体中の溶存CO₂濃度をin-situでリアルタイムにモニタリングし、理想的なプロセス条件の維持に必要な措置のタイミングを逃さない



ので、生産量も増え品質も向上します。完全な滅菌処理とオートクレーブが可能なインラインCO₂センサで、衛生条件を満たし、European Hygienic Engineering and Design Groupの認定を受けています。本製品のメンブレンは揮発性の有機酸に対して優れたバリアとなりエラーのない測定を実現します。また、モジュール式设计によって迅速で簡単にメンテナンスや部品交換が可能です。

Mettler-Toledo Labtech GmbH
Switzerland

[BIO TECK international] より (編集部訳)

NEW

高速遠心機シリーズ

共用の研究室で日々使用する遠心分離機を最大限活用するために、Thermo Scientific Sorvall LYNX遠心分離機は最大遠心力10万Gを特徴とし、50ml 円錐チューブやマイクロプレートから、1ℓボトル、最大6ℓ



までのハイスループット試料プロセッシングを支援するので、研究現場と生産施設に共通の発展的なニーズに応えます。処理セットアップは直感的に操作できるタッチパネルインターフェースで簡単、明るく見やすく丈夫なディスプレイが特徴です。他にも内蔵の学習ビデオやパスワードで保護されたユーザーログインなどのアクセス制限もあり、上級のトレーニングやプログラミングの選択が可能です。安全装置内蔵と革新的なロータ技術が、処理セットアップ時間の短縮と安全性の向上を実現しました。

THERMO FISHER SCIENTIFIC
USA

[BIO TECK international] より (編集部訳)

ケモサニタイザー



化学療法室、臨床環境の除菌ツール

“植物をベースにした自然・ヒトにやさしい除菌剤の開発”を基に製品化

化学療法における臨床環境の除菌、抗がん剤ワークエリア、その他関連する設備・備品の除菌に適しています。食品添加物として認可された植物由来の成分を使用しており、安全で手に優しい、ソフトな除菌ツールです。さまざまなウイルスや菌等、微生物の除去に。金属、非金属問わず、腐食性もありません。除菌スプレー ケモサニタイザーをご活用ください。

■ BENEFIT

- 化学療法の臨床環境の除菌
- 抗がん剤調製ワークエリアの除菌
- その他、関連する設備・備品の除菌に

■ ADDED VALUE

- 安全 … タラの成分から開発、FDA, WHOで食品添加物として認定
- ソフトタッチ … 作業時に手に触れても、手にやさしく手荒れを起こしにくい
- 非揮発性 … 抗がん剤などの薬剤をガス化させない
- 無臭 … 無色、無臭
- 環境にやさしい … 最終的に炭酸ガスと水に分解
- 殺ウイルス活性 … さまざまなウイルスや菌等、微生物の除去に
- 腐食性なし … 腐食性なく、金属、非金属に有効

販売に先駆けて、
サンプル配布中!

200ml × 5本
¥6,300



NKsystem Bio & Clean 研究設備・機器
株式会社 日本医化器械製作所

E-mail: info@nihonika.co.jp

- 本社 / 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目22番38号 ☎06-6443-0712 (代)
- 東京支店 / 〒183-0015 東京都府中市清水ヶ丘1丁目3番地8 ☎042-365-3245 (代)
- 札幌支店 / ☎011-786-7203 (代) ● 仙台営業所 / ☎022-349-9525 (代)
- つくば営業所 / ☎029-855-7401 (代) ● 名古屋営業所 / ☎052-451-7922 (代)
- 福岡営業所 / ☎092-611-0530 (代) ● 羽曳野工場 / ☎072-958-1919 (代)

最新情報はホームページをご覧ください <http://www.nihonika.co.jp>

NEW

マイクロプレートシーラー

Porvair SciencesのMiniSealは、少数のプレートを扱う研究室で好評です。特に、通常より大きな圧力を要するディープウェルプレートのシールを行う研究室で人気があります。利便性を考えてコンパクトに設計された本製品は、コンセントにつなぐだけで簡単に設置できます。圧縮空気供給装置の近くに設置する必要もなく、専用コンプレッサーの購入も不要です。手動のヒートシーラーとは異なり、あらかじめ設定した圧力で再現性の高いプレートシールを繰り返すことが可能です。使い易さと高品質のプレートシールに加え、独自のツインボタンによる操作でオペレータの安全までも保証します。用途が広い本製品は、深さが3~62mmの標準的なディープウェルやPCRマイクロプレート全てに、正確で密閉性の高いシールが可能です。50~200℃の範囲で温度を調節可能なので、ほとんどのオイルとフィルムで最適なヒートシールを実現します。



Porvair Sciences Ltd.
UK

「BIO TECK international」より(編集部訳)

NEW

大容量サンプル保存用チューブ

新しい2ml保存用チューブは、サンプルの大量保存能と業界標準の96チューブラックを用いる完璧なトレーサビリティとを併せ持つ製品です。バイオバンク、バイオテクノロジー、薬学研究の企業などのライフサイエンス業界では、個々のサンプルの保存時の完全性が高いことと、取扱いが容易なことが非常に重要です。Micronic 2ml保存用チューブは、独自の2次元(2D)コードレーザーでチューブ底にコードし、サンプルの容易な識別と追跡可能な保存を実現しました。この独自の2Dコードでは、サンプル、保存ラックにおけるそのサンプルの位置、その保存ラック、および冷凍庫内におけるそのラックの位置を特定します。本製品



は最高純度のポリプロピレン製で、最新のクラス7のクリーンルームの生産設備で製造されます。

Micronic B.V. Integra Biosciences (IBS)
Netherlands

「BIO TECK international」より(編集部訳)

滅菌済

ステリ・バッグ PAT.P

IVH・混注・輸血・各製剤の病棟扱い出し 在宅医療用に最適!

- ①真空パック可能な袋です。従来品より強度が有り、開封するまで真空を保持します。(誤開封・汚染防止)
- ②酸素透過率、水蒸気透過率が低く、紫外線(UV)遮光により、薬液の品質劣化を防ぎます。(品質安定)
- ③10枚単位でパックし、更に滅菌(ガンマー線)済みで、クリーンルーム・クリーンベンチ内でそのまま使用できます。(汚染防止)
- ④使用時はフック取り出し口を開封し、フックを吊り下げることにより、そのまま紫外線(UV)遮光・防塵の点滴カバーとなります。(1パックで2役)
- ⑤開封は簡単なノッチ付で、直線に切ることができます。(簡単)
- ⑥卓上真空包装機(SQ-203S)も用意しております。(即納)



ステリ・バッグ

型 式	寸法(mm)	包 装 単 位
SB-38	380×240	10枚/1パック×50 =500枚/1箱
SB-43	430×270	
SB-48	480×300	
SB-50	500×340	

シールステリバイアル

医療機器です(薬事法の一般医療機器に該当)

標準形状タイプ

シールステリバイアルNを新発売!

純水洗浄・完全密栓・γ線滅菌済!!

—使用期限3年になりました—



シールステリバイアル 10mL, 2mL



シールステリバイアルN 30mL, 20mL, 10mL

- 完全シール品ですので、すぐに使用できます。
- 厳重に管理された滅菌工程で生産していますので安心です。(薬事法に基づく滅菌医療機器製造許可を受けた製造所で生産しています)

シールステリバイアル

名 称	形 式
シールステリバイアル 2mL	SSV-2C-BFA
シールステリバイアル 10mL	SSV-10C-BFA
シールステリバイアルN 5mL	SSVN-5C-BFA
シールステリバイアルN 10mL	SSVN-10C-BFA
シールステリバイアルN 20mL	SSVN-20C-BFA
シールステリバイアルN 30mL	SSVN-30C-BFA

入数:10本/1箱 材質:・ゴム栓・ブチルゴム・キャップ・PP樹脂・フリップキャップ/アルミニウム・バイアル瓶/ガラス(透明)
*ガンマー線滅菌によりガラスは褐色になっていますが、ご使用には問題ありません。



製造販売元

三田理化工業株式会社

本 社 〒531-0076 大阪市北区大淀中2-8-2
TEL (06) 6458-0971 FAX (06) 6458-2393

取得業許可: 高度管理医療機器等販売業・賃貸業
第二種医療機器製造販売業
医療機器製造業
医療機器修理業



FM87147/ISO9001:2008/

RACoon

http://www.racoon.co.jp

恩賜財団 済生会横浜市東部病院

薬剤部 課長 菅野 浩

私は今、済生会横浜市東部病院の麻薬管理者を務めています。当院は手術件数が年間5,000件を超え、使用する麻薬注射製剤も3万本以上になります。当然これら麻薬類を事故が無いように管理することに日夜注力しておりますが、これは薬剤師として、そして麻薬管理者として当然のことです。もし所有者不明の麻薬が病院のどこかで発見されたら一大事であることは言うまでもありません。それが、我が家で正体不明の麻薬が発見されたら・・・という貴重な体験を昨年しました。そのエピソードをこの場で紹介いたします。

都内某所の我が家は、およそ2年前に実家を解体した跡地に新築しました。もともと建っていた実家は戦前に建てられた木造家屋で、既に築70年以上を経過しておりました。さすがに老朽化が激しく、また土地が借地であったために借地権を清算する目的もあり、建て替えを行いました。最も大変だったことは実家の片付けと引越でした。押入や納戸からは自分の幼少期に見覚えのあるもののみならず、祖父母のものと思われる様々な年代物が数多く発掘(?)されました。特に中二階の納戸からは、私が生まれる16年前に死去した祖父の往診カバンが見つかりました。

実は私の祖父は医師だったのですが、その経歴は異色でした。私の曾祖父と曾祖母は戦前に移民として米国へ渡りました。そして、いわゆる日系二世として誕生したのが私の祖父でした。祖父は米国の医科大学を卒業して医師になりましたが、第二次世界大戦を機に日本へ帰国し祖母と結婚。以後、都内の某キリスト教系病院に勤めておりました。往診カバンを開けると聴診器やガラス製の注射器、数多くの医薬品がギッシリと詰まっておりました。医療従事者であれば誰もが興味を引かれるものでした。しかし、チューブがゴム製の聴診器は変色変形したり、医薬品も変色して錠剤から針状結晶が析出していたりと状態は決して良好ではありません。一つ一つをじっくり観察して整理していくと多大な時間がかかることが明白でしたので、やむなく引越作業を優先した結果、そのまま放置さ

れることとなりました。

後日、入っている医薬品を恐る恐る全て取り出し、包装のラベルを読んでいきました。日本の製剤に加え米国製のものも多く、アボット社など現存のメーカーもありました。英語の標記にその薬の薬効などが日本語で手書きされたものも見受けられました。ピタカンファー注、エフェドリン注「ナガキ」、エリスロシン、塩酸ロペリン注「インゲルハイム」・・・と古典的な歴史を感じる医薬品ばかりです。会社名などから昭和初期から戦後にかけての時期の製剤と推測されました。



写真1：麻薬の紙箱、表(左)と裏(右)

その中で、小さい赤紫色の少々丈夫な紙箱(写真1)に目が止まりました。よく見ると箱には万年筆による手書きで「麻薬」と記載があります。英語の標記も



写真2：硫酸モルヒネ錠

“MORPHINE SULPHATE 1/8 GRAIN”、“POISON”などとあります。当然私の脳裏にはある種の危険信号のような興奮ともいえる感覚がよぎりました。箱を静かに開封すると、細長いガラス管のような容器に封入された多数の小さな錠剤(写真2)と、手作りのガラス細工のようなアンプル(写真3)が出てきました。アンプルの製剤には“NARCOPON”、“劇”、“RADIUM SEIYAKU K.K.”と印刷されたラベルが貼付されています。アンプルのラベルと外箱の標記が明らかに異なりますが、錠剤の外箱を麻薬の携帯ケースとして注射剤を合わせて入れていたようです。錠剤はいわゆる硫酸モルヒネ錠であり、1/8 GRAINはおおよそ8mgに相当し、内服に使用するものと思いましたが、外箱に“HYPODERMIC TABLETS”とも記されています。調べてみると“皮下注錠”であることが判明しました。すなわち使用時に錠剤を注射用水に溶解して皮下注投与する製剤なのです。現代ではあまり考えられない“剤形”です。さらに調べてみると、箱の上部に貼付された“Subject to the Harrison Act”と標記されたラベルは、米国で初めて制定された麻薬を規制する法律である通称“ハリソン法”対象の薬物であることを意味するようです。一方のアンプルは日本製の製剤であり、ナルコポンという商品名のアヘンアルカロイドを含む注射液でした。メーカーはラヂウム製薬”であり、昭和19年に今の武田薬品工業に吸収合併されたようです。

色々と調べてみたり、レトロなデザインに興味を引かれ写真にも収めてはみましたが、戦前の製剤とはいえ、れっきとした麻薬であることには間



写真3：ナルコポン注射剤アンプル

違いありません。安易に公表することは不法所持であることを自ら公にさらすことであり、私の麻薬管理者免許ばかりか、薬剤師免許にも傷がつくのではという考えに至りました。素人であれば気にせず廃棄していたかもしれませんが、判った以上、まずは管轄の東京都庁薬務課に連絡を取り、身分も明かした上で事情を話しました。すると「自宅に薬務課職員を派遣するので、現状を確認するまでそのまま置いておくように」と指示がありました。まさか自宅で薬務課の方を迎えるとは・・・正直信じられない気持ちでした。

約束の日時になると、薬務課の方2名が自宅を訪れ現物を確認しました。薬務課の方は現物を見ると開口一番、「うわー、出ましたねー。ここまでの年代物は過去に見たことがありません！」と言う次第。その後の処理がどうなるのか両氏に尋ねると、まずは“任意提出”をした後、所有権を放棄してもらうとのこと。錠剤も計数し、指示されるがまま所定の“任意提出書”と“所有権放棄書”に住所氏名、職業、年齢、提出物件の内容などを記入し捺印しました。念のため、他に麻薬が無いかカバンの中にあつた医薬品全てを再検索したところ、さらに“パンスコ注”も見つかり、合わせて提出しました。

これで全ての手続きは終了。私の手元には、祖父の筆跡と推測される“麻薬”の文字が記載された外箱とその他の医薬品などが現在も残っています。会ったことのない天国の祖父と“くすり”を通じて繋がった貴重な体験でした。

HYPODERMIC TABLETS
NO. 14
MORPHINE SULPHATE
1/8 GRAIN

日本薬学会 第133年会 併催展示会

会場：横浜・パシフィコ横浜
開催日：平成25年3月28日(木)～30日(土)
出展社数：102社
 機器/59社 医薬品/8社
 文献情報検索システム/10社 書籍/25社
小間数：133小間
 機器/79小間 医薬品/10小間
 文献情報検索システム/10小間
 書籍/34小間
登録者数：約9,000名



▲展示会場風景



▲来場者の質問に丁寧に対応



▲資料を手に製品説明をする出展者

出展社一覧

機器	小間数	機器	小間数	医薬品	小間数	書籍	小間数
アイ・エム・アイ(株)	1	ナカライテスク(株)	2	エスエス製薬(株)	1	(株)医学書院	1
(株)アサヒテクノラボ/(有)アサヒバイオメド	1	(株)夏目製作所	1	大原薬品工業(株)	1	(株)医薬ジャーナル社	1
アジレント・テクノロジー(株)	1	日科ミクロン(株)	2	花王(株)	1	(株)インターヴォイス	1
(独)医薬品医療機器総合機構	1	(株)日本医化器械製作所	2	共和薬品工業(株)	1	AAAS/Science	1
(株)インターメディカル	1	日本ウォーターズ(株)	1	グラクソ・スミスクライン(株)	1	エルゼビア・ジャパン(株)	2
(株)イービー・サイエックス	1	日本/リレーション・テクノロジー(株)	1	日産化学工業(株)	1	(株)科学新聞社	1
エムアイケミカル(株)	1	日本分光(株)	2	日本ケミファ(株)	2	(株)化学同人	2
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産学官連携センター	1	(株)日本分析工業(株)	1	日本ジェネリック製薬協会	2	カククス・コミュニケーションズ(株)	1
(一財)化学物質評価研究機構	1	ノーザンサイエンスコンサルティング(株)	1	医薬品 合計 8社	10小間	(株)京都廣川書店	3
片山化学工業(株)	1	(株)パーキンエルマー・ジャパン	1	文献情報検索システム	小間数	(株)クマノミ出版	1
クラボウ	1	(株)バイオクロマト	1	(株)アフィニティサイエンス	1	(株)じほう	2
(株)クロマニックテクノロジー	1	バイオタージ・ジャパン(株)	2	(株)イー・コミュニケーションズ	1	シュプリンガー・ジャパン(株)	2
(株)サイダ・FDS	1	(株)ビジコムジャパン	1	(一財)医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団	1	(株)テクノミック	1
サカセ化学工業(株)	1	日立アロカメディカル(株)	1	公益財団法人 MR認定センター	1	(株)東京化学同人	2
ジーエルサイエンス(株)	1	ペルトールドジャパン(株)	2	化学情報協会	1	(株)南江堂	1
シグマアルドリッチ ジャパン(合)	1	(株)VIP グローバル	1	(株)QLife	1	(株)南山堂	1
シスメックス(株)	1	ヒューマン・メタボローム・テクノロジー(株)	1	SCHRÖDINGER LLC	1	(株)日本アルトマーク	1
柴田科学(株)	1	福島工業(株)	1	(一財)日本医薬情報センター	1	(株)ニホン・ミック	2
(株)島津製作所	1	富士シリシア化学(株)	1	(株)ネグジット総研	1	(株)廣川書店	1
シャープマニファクチャリングシステム(株)	1	富士通(株)/(株)富士通九州システムズ	1	UBMジャパン(株)	1	Bentham Science Publishers	1
昭和電工(株)	1	プレクセラ・バイオサイエンス(株)	1	文献情報検索システム 合計 10社	10小間	(株)メディカル・ドゥ	1
住友ベークライト株式会社	1	ペルトールドジャパン(株)	1	(株)薬事日報社	1	(株)有隣堂	1
(株)ダイセル	2	マルバーン(スペクトリス(株))	1	(株)羊土社	1	(株)羊土社	1
(株)大日本精機	1	三田理化工業(株)	1	ワイリー・ジャパン(株)	2	ワイリー・ジャパン(株)	2
高園産業(株)	2	メルク(株)	2	書籍 合計 25社	34小間		
タカラバイオ(株)/五稜化学(株)	1	(株)メルシー	1				
東京化成工業(株)	1	(株)湯山製作所	4				
東ソー(株)	1	(株)ワイエムシィ	2				
(株)トーショー	6	和光純薬工業(株)	2				
富山産業(株)	2	機器 合計 59社	79小間				

▶ 新技術・新製品セミナー プログラム

会場：パシフィコ横浜(展示会場内 セミナー会場)



高速液体クロマトグラフ並びに周辺機器、及びその他の分析機器

3月28日(木)

- HILIC分析条件設定の紹介と親水性相互作用+ α の分離効果! ナカライテスク(株)
- HPLCを用いてコアシェルカラムの性能が出ない: その原因と対策 (株)クロマニックテクノロジーズ
- 従来の分離領域を広げる第3のクロマトグラフィー 日本ウォーターズ(株)
- 低分子から抗体分析までアジレント最新 LCカラムのご紹介 アジレント・テクノロジー(株)
- 新 HPLCカラム、イナートサステインシリーズと新製品の紹介 ジーエルサイエンス(株)
- C18で分離できない時の2nd Choice:C28・C30・PFPがおもしろい! (株)クロマニックテクノロジーズ
- メソッド開発をもっと効率的に!! ~C18+2ndカラムの有効活用~ (株)ワイエムシ
- 薬局方の規定を満たすための HPLCカラム選択のノウハウ ジーエルサイエンス(株)
- 生体中の抗体医薬品を高感度分析する 日本ウォーターズ(株)
- LC/MSを使用した遺伝毒性不純物プロファイリング アジレント・テクノロジー(株)
- 高分離 LC & LC/MSペプチド分析最新アプリケーション 日本ウォーターズ(株)
- 2.6 μ mコアシェルカラム初のタンパク質分離用30nmカラム Amplus (株)クロマニックテクノロジーズ
- 最新のセミ分取HPLCシステムの紹介 ~生薬への応用~ 日本分光(株)
- カラムメーカーが作った超便利な分取液クロ ~MPLCもHPLCもこれ1台~ (株)ワイエムシ

3月29日(金)

- キラルクロマトの技術革新 ~キラル中圧カラムとキラル TLC~ (株)ダイセル
- アミノ酸分離用キラルカラム "ZWIX" 及び "CR-I" の実力 (株)ダイセル
- 耐溶剤型キラルカラム iCHIRAL-6が拓くスクリーニング法 (株)ダイセル
- セルロースを使わない新素材のマトリクススポットティングカード Bond Elut DMS アジレント・テクノロジー(株)
- 最新固相抽出法 ~質量分析のための試料前処理技術の紹介~ ジーエルサイエンス(株)
- 日本薬局方や米国薬局方(USP)で注目されている ICP-MSおよび ICP-OESの紹介 アジレント・テクノロジー(株)
- 新手法を用いたマイクロフロー型自動蛋白質結晶化システムのご紹介 (株)ワイエムシ
- 品管にいきる糖・有機酸・アミノ酸の高選択性ポストカラム分析 (株)日立ハイテクノロジーズ
- 今お持ちのHPLCに適用可能な第二世代 UHPLC カラム登場! (株)パーキンエルマー・ジャパン
- 更なる進化を遂げた最新 UHPLC による新たな不純物解析の提案 (株)島津製作所



薬学研究に使用されるその他の機器・システム・機材(実験動物用機器、環境調節装置、汎用研究機器等)

3月30日(土)

- マススペクトル検出フラッシュ自動精製システムの紹介 バイオタージ・ジャパン(株)
- X線結晶構造解析に革新的進化を! Agilentから アジレント・テクノロジー(株)
- ラマンと FTIRを用いた結晶多形および成分分析に関する最新技術 日本分光(株)
- 薬学研究者が注目する消耗品のご紹介 (株)バイオクロマト
- ラベルフリー検出技術(LF)を搭載したプレートリーダーの紹介 (株)パーキンエルマー・ジャパン
- Prestwickの既存薬ライブラリーと設計合成受託サービス (株)パーキンエルマー・ジャパン

▶ ワークショップ プログラム

会場：パシフィコ横浜(展示会場内 セミナー会場)

3月29日(金)

- 逆相固定相どうなっているの? これを知れば見方・使い方が変わる (株)クロマニックテクノロジーズ

3月30日(土)

- マススペクトル検出フラッシュ自動精製システムの紹介 バイオタージ・ジャパン(株)



▲ワークショップの様子

第34回 日本病院薬剤師会近畿学術大会 付設薬科機器展示会

会 場：大津・ピアザ淡海
 開催日：平成25年1月26日(土)～27日(日)
 出展社数：20社
 機器／19社 書籍／1社
 小間数：33小間
 機器／32小間 書籍／1小間
 登録者数：約4,300名



▲展示会場風景

出展社一覧

機器	小間数	医薬品	小間数
馬野化学容器(株)	1	日本ベクトン・ディッキンソン(株)	1
エムアイケミカル(株)	1	パナソニックヘルスケア(株)	3
(株)セーフマスター	1	(株)バリエメディカル	1
小西医療器(株)	2	(株)VIPグローバル	1
サカセ化学工業(株)	1	三田理化学工業(株)	2
CMCCメディカル(株)	2	(株)湯山製作所	4
すみれ分包機(株)	1	機器 合計 19社	32小間
高園産業(株)	3		
(株)トーショー	2	書籍	小間数
日科ミクロン(株)	2	(株)ユニオンエース	1
(株)日本医化器械製作所	2	書籍 合計 1社	1小間
(一財)日本医薬情報センター	1		
日本ジェネリック(株)	1		



▲熱心に機器操作を見る来場者

日本薬科機器協会主催 研修会を 開催しました

日本薬科機器協会の研修事業の一環として研修会を開催しました。

- ➡ 日時・会場：【東京地区】平成25年2月1日(金) 18時～
医科器械会館 2F セミナーホール
- 【大阪地区】平成25年2月7日(木) 18時～
薬業年金会館 会議室

➡ 講 師：丸山 直樹 氏
アチーブメント株式会社 トレーナー

➡ テ ー マ：「顧客に選ばれる営業の3つの秘訣」
～心理学を駆使した関係構築技法～



▲講師 丸山 直樹 氏

講師の丸山氏は、人材教育コンサルティング会社のトレーナーとして、起業家や中小企業家の人材育成に積極的に取り組み高い評価を得ております。

顧客に選ばれる営業になるための3つの秘訣「知識」「マインド」「スキル」についての解説、また選択理論心理学に基づいた人間の基本的な5つの欲求を得るための行動選択については、簡単な心理テストや参加者同士の話し合いなどを交えながら講演していただきました。人生やビジネス経験の豊富な参加者にとっても、これまで築いてきた人間関係の再確認ができる内容でした。

東京会場は約50名、大阪会場は約70名が参加、昨年に引き続き大変有意義な研修会となりました。



▲多くの参加者が熱心に聴講(大阪会場)

製品開発 リクエスト シートより

日本薬科機器協会では、会員各社やメーカー各社へ、より細やかにユーザーの声を反映すべく、展示会場の協会ブースで「リクエストシート」の記入をお願いしております。各展示会場で寄せられた声をご紹介します。

■ 使用機器への疑問・要望・困っていること

- 電子カルテ導入に伴う個人情報データのゴミ。活用できないのがとてももったいない。
- コンピューターのシステムの不具合が多い。
- 電子カルテが最近導入されたが使いにくい。ペーパーレスがメリットの一つだが、却って紙の量が増えた。

■ こんなものがあつたら or こんなものがほしい

- 放射性医薬品取扱用の安全キャビネットについて、鉛のブロックで遮蔽しながら操作すると視界から薬剤が消えてしまうので、ブロックの奥に鏡を設置するとよいのではないか。
- 反応性のよい機器がほしい。
- 音声でカルテ入力ができるといい。
- 抗がん剤濃度測定器（空気中に含まれるいろんな抗がん剤の濃度をすぐに測る機械）があるといい。
- 一包化分包機の手巻き部分（DTAセット部分）に、スライド式のポケットが付いている製品を開発してほしい。
- 錠剤自動監査機を直接自動分包機に接続できないか。
- 錠剤を半分にする機械で、割線に沿って中心のところで割れるものがあると助かる。
- インスリン注射をしている患者のなかには、デバイスに針をまっすぐ装着できない方がいるので、インスリン注射器に針をまっすぐ取り付けるためのツールがあればいいと思う。案はあります。
- 針を怖がる患者のために針を隠すツール（1型DMの小児など）がほしい。
- 錠剤分包機（ヒートを設定するのみで分包してくれるもの）。バラとヒートのどちらも在庫として置きたくないので。
- 合成確認に使用できる安価なMSがほしい。
- 散剤監査システムの外用剤にも応用できるシステムや薬歴監査システムのOTCも含めたシステムがあつたらうれしい。
- 病院でも、調剤薬局のように小分け販売（ポルタレン 10Tのみ）を利用したい。
- 目薬には開封年月日を1本ずつ書き込めるシールを付けてほしい。
- 薬のシートに、Lot No.や期限を分かりやすく書き込んでほしい。
- 分包紙やインクリボンの取り換えで手指を怪我したりカサカサになるので、手にやさしい素材で紙や機械を作してほしい。



リクエストシートにご要望・ご意見・アイデアなどを記入後、ひら芽きPotに投函をお願いいたします。

製品開発リクエストシートに寄せられたご要望を解決するためのご意見やアイデア、あるいは欲しいツール・システムなどがございましたら、協会までご連絡ください。

また詳細をお知りになりたい方、その他ご要望、困っていることがありましたら協会までお問い合わせください。

協会ホームページ (<http://www.nyk.gr.jp/>) お問い合わせフォームをご利用ください。

お問い合わせは
日本薬科機器協会まで

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会長井記念館 3F
電話 03-3407-8831 メール info@nyk.gr.jp

新製品情報掲載と広告募集について

1 新製品情報掲載について

掲載料は 会員は無料、非会員は30,000円となります。

以下のものを、データ、CD、版下などで協会までお送り下さい。

- ①新製品情報タイトル
- ②本文の原稿(250~270字にまとめWord、テキスト、原稿用紙などで)
- ③カラー写真(プリントまたはeps画像、jpg画像)
- ④問合せ先(社名、電話、FAX、URL、e-mail)

※ 1社の出稿は原則として1回1点としますが、スペースに空きがある場合は2点以上出稿できます。

※「新製品情報」は原則過去1年間に開発されたものをお願いします。

2 広告募集要項

広告掲載料

掲載場所	会員	非会員	サイズ
表 2	120,000円	180,000円	天地297mm×左右210mm
表 3	100,000円	150,000円	天地297mm×左右210mm
表 4	150,000円	225,000円	天地297mm×左右210mm
記事中 1P	80,000円	120,000円	天地297mm×左右210mm
記事中 1/2P	40,000円	60,000円	天地123mm×左右182mm

カラー用版下原稿(CD)を協会までお送り下さい。

※ 1社の出稿は原則として1回1点としますが、スペースに空きがある場合は2点以上出稿できます。

新製品情報と広告の 次回締め切りは7月10日です。

送付先及びお問い合わせは 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会長井記念館 3F
日本薬科機器協会まで 電話 03-3407-8831 メール info@nyk.gr.jp

ホームページから最新情報を入手できます！

日本薬科機器協会のサイトにアクセスすると…

1. 新着情報やイベントスケジュールをいち早く入手！

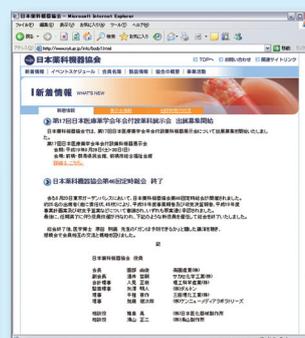
2. 各社の製品情報を見たら、そのまま各社のホームページへ簡単にリンクできます！

3. メーマガジン「薬科機器通信」のバックナンバーの閲覧が可能！

4. メルマガへの投稿もホームページからできます！



TOPページ



新着情報ページ



イベントスケジュールページ

お知らせします

会員会社役員人事

古江サイエンス(株)

下記のように、代表取締役社長が交代いたしました。

代表取締役社長 山口 美奈子 / 代表取締役会長 古江 典昭

関連団体役員人事

公益社団法人 日本薬学会

3月27日開催の代議員総会において役員の改選が行われ、4月1日から下記の役員により運営されております。

会 頭	柴崎 正勝(新任)	常任理事	横山 祐作(新任)
副会頭	太田 茂(新任) 大塚 雅巳(新任) 鈴木 洋史(新任)	監 事	伊藤 信行 海老塚 豊 山添 康
理 事	味戸 慶一(新任) 大久保 恭仁(新任) 大野 泰雄 荻田 喜代一(新任) 堅田 利明(新任) 金子 周司(新任) 倉石 泰(新任) 五味田 裕	近藤 裕郷 佐々木 茂貴 袖岡 幹子(新任) 高子 徹 永津 明人(新任) 藤岡 弘道 堀江 利治(新任) 松田 彰	顧 問 西島 正弘(新任)

訃報

日本薬科機器協会元理事 坂野源一氏(明和産業株式会社 前代表取締役社長)が平成24年12月19日逝去されました。享年83歳でした。葬儀告別式は、同社代表取締役 坂野隆氏が喪主をつとめ、平成24年12月24日11時より東京都杉並区清見寺光雲閣斎場で執り行われました。

諸会議報告 平成24年12月度、平成25年1月・2月・3月度

理事会

■平成25年1月度理事会

●日 時:平成25年1月30日(水) 12:00～15:00 ●場 所:八重洲倶楽部 ●出席者:園部会長、酒井副会長、加藤・矢澤・千種・湯山理事、事務局 ●議 事:1.展示会関係 2.研修会について 3.50周年記念誌について 4.その他

■平成25年3月度理事会

●日 時:平成25年3月22日(金) 12:00～17:00 ●場 所:八重洲倶楽部 ●出席者:園部会長、酒井副会長、加藤・矢澤・千種・湯山理事、事務局 ●議 事:1.展示会関係 2.研修会について 3.50周年記念誌について 4.平成24年度第3四半期収支報告書について 5.その他

小間割り会議

●日 時:平成25年1月30日(水) 15:00～17:00 ●場 所:八重洲倶楽部 ●出席者:園部会長、酒井副会長、加藤・矢澤・千種・湯山理事、事務局、(株)小田原企画・高橋専務 ●議 事:日本薬学会第133年会併催展示会 小間割り

総務会

■平成24年12月度総務会

●日 時:平成25年12月25日(火) 13:00～17:00 ●場 所:協会事務局 ●出席者:園部会長、酒井副会長、小川事務局長 ●議 事:1.展示会関係 2.50周年記念誌について 3.その他

■平成25年1月度総務会

●日 時:平成25年1月29日(火) 13:00～17:00 ●場 所:協会事務局 ●出席者:園部会長、酒井副会長、小川事務局長 ●議 事:1.展示会関係 2.研修会について 3.50周年記念誌について 4.その他

■平成25年2月度総務会

●日 時:平成25年2月27日(水) 13:00～17:00 ●場 所:協会事務局 ●出席者:園部会長、酒井副会長、小川事務局長 ●議 事:1.展示会関係 2.研修会について 3.平成24年度第3四半期収支報告について 4.その他

■平成25年3月度総務会

●日 時:平成25年3月13日(水) 13:00～17:00 ●場 所:協会事務局 ●出席者:園部会長、酒井副会長、小川事務局長 ●議 事:1.展示会関係 2.50周年記念誌について 3.その他

事務局日誌

■平成24年12月度報告

- 12月 7日(金) サイバーランド・富樫、本郷氏来局(やげん色校)。
- 11日(火) 富島海運(株)・今屋氏来局(挨拶)
- 14日(金) サイバーランド・富樫、本郷氏来局(やげん再校)。
- 25日(火) 12月度総務会
(株)出版文化社・竹内、島津氏来局(50周年記念誌打合せ)。

■平成25年1月度報告

- 1月 7日(月) 協会 HP更新
サイバーランド・鈴木社長来局(挨拶)
- 8日(火) 小田原企画・高橋社長、高橋専務来局(挨拶)。
園部会長、酒井副会長、小川事務局長、大阪友好団体
新年互礼会出席。
- 9日(水) (株)ポートサービス・井上氏来局(日本薬学会第133年会懇
親会打合せ)
- 10日(木) 園部会長、酒井副会長、小川事務局長、東京医科歯科
大学医学部附属病院・安原先生訪問(第25回日本医療薬
学会年会打合せ)。
園部会長、酒井副会長、小川事務局長、日本薬学会、
日本医療薬学会、日本病院薬剤師会、東京都病院薬劑
師会挨拶回り。
園部会長、酒井副会長、小川事務局長、日本薬学会新
年交歓会出席。
- 11日(金) 園部会長、小川事務局長、都庁業務課訪問(挨拶)。
園部会長、小川事務局長、日本科学機器協会賀詞交歓会
出席。
- 16日(水) 光製薬・柏氏来局(第23回日本医療薬学会年会打合せ)
園部会長、酒井副会長、小川事務局長、日本薬劑師会
賀詞交歓会出席。
- 18日(金) 小川事務局長、東京大学・松木先生訪問(日本薬学会第133
年会打合せ)。
- 24日(木) メールマガジン「薬科機器通信」第44号配信
- 25日(金) 園部会長、日本保険薬局協会新年交歓会出席。
酒井副会長、湯山理事、小川事務局長、大津出張。
第34回日本病院薬剤師会近畿学術大会開催(1月26日~27日)
- 28日(月) 園部会長、酒井副会長、小川事務局長、三重大学医学
部附属病院・奥田先生訪問(第24回日本医療薬学会年会、
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合
同学術大会2013打合せ)
- 29日(火) 1月度総務会
(株)出版文化社・竹内、島津氏来局(50周年記念誌打合せ)。
- 30日(水) 1月度理事会、小間割り会議。

■平成25年2月度報告

- 2月 1日(金) 研修会(東京・医科器械会館)
- 5日(火) JTB・向坂氏来局(第23回日本医療薬学会年会打合せ)。
- 7日(木) 研修会(大阪・薬業年金会館)
- 8日(金) 焼津市民病院・石橋氏より問合せ(サカセ化学工業製予薬カート)。
- 13日(水) 酒井副会長、小川事務局長、さいたま赤十字病院・藤掛
先生訪問(日本病院薬剤師会 関東ブロック第43回学術大
会打合せ)。
- 14日(木) 寿稲荷祭礼(長井記念館)
- 15日(金) サイバーランド・鈴木、富樫、本郷氏来局(やげん5月号打合せ)。
- 21日(木) 園部会長、酒井副会長、小川事務局長、佐賀県薬剤師
会訪問(第75回九州山口薬学大会打合せ)。
- 25日(月) 園部会長、酒井副会長、小川事務局長、京都いわくら病院・
川勝先生訪問(第35回日本病院薬剤師会近畿学術大会打合せ)。
- 26日(火) パキスタン領事館・森氏より問合せ(薬科機器)
- 27日(水) 2月度総務会
(株)出版文化社・竹内、島津氏来局(50周年記念誌打合せ)。
- 28日(木) 園部会長、酒井副会長、小川事務局長、東北大病院・
真野先生訪問(第23回日本医療薬学会年会打合せ)。

■平成25年3月度報告

- 3月 4日(月) 協会 HP更新
メールマガジン「薬科機器通信」第45号配信
韓国貿易センター・チョン・ソンイル氏より展示会問合せ
- 5日(火) 園部会長、小川事務局長、(株)出版文化社・竹内、島津
氏、小西医療器(株)にて50周年記念誌のためのインタ
ビュー(小西豊次氏、中川顧問)。
- 7日(木) 園部会長、小川事務局長、(株)出版文化社・竹内、島津
氏、東京ガーデンパレスにて50周年記念誌のためのインタ
ビュー(大河原敏氏、谷尾和彦氏)。
- 13日(水) 3月度総務会
(株)出版文化社・竹内、島津氏来局(50周年記念誌打合せ)。
- 14日(木) 園部会長、酒井副会長、小川事務局長、愛媛大病院・荒
木先生訪問(35回日本薬学会・日本薬劑師会・日本病院
薬劑師会中国四国支部学術大会会場下見)。
- 15日(金) サイバーランド・富樫、本郷氏来局(やげん5月号打合せ)。
- 22日(金) 3月度理事会
- 26日(火) メールマガジン「薬科機器通信」第46号配信
- 27日(水) 酒井副会長、加藤理事、矢澤理事、小川事務局長、横
浜出張。
日本薬学会第133年会開催(3月28日~30日)

編集後記

くまモンがくる。薬科機器協会では、日本薬学会の年会併催展示会で、次年度の開催地の紹介を行っている。134年会の組織委員長、熊本大・大塚先生と次年度紹介コーナーについて打ち合わせしている際にくまモン来場の話を知った。これは面白い、客寄せには最適だと考え、ひそかに楽しみにしていた。3月29日、次年度紹介コーナーには、予定時間の30分前から人が集まり始め、くまモン登場時には黒山の人だかりとなった。照れくさそうな大塚先生と手をつないで登場、フラッシュが光る。簡単な挨拶の後、撮影タイム、ピースサインが引きも切らない。ピースサインとともに写してもらっているのは若い女性だけではなく、かなり年配の男性もあり、孫への土産だろうか。30分後、またまた手をつないで退場。先生は終始照れくさそうに微笑んでいるばかりだった。しかしこれほどまでに人気があるとは思ってもよらなかった、ゆるキャラの威力たるや恐るべしである。

通路を挟んで対面するブースの企業にとってはいい迷惑だったかもしれない。黒山の人だかりの背中が相手だからである。(小川)



▲人気のくまモン

薬科機器通信「やげん」5月号

発行:2013年5月10日

発行者:日本薬科機器協会 園部 尚俊

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15(日本薬学会会長井記念館3F)

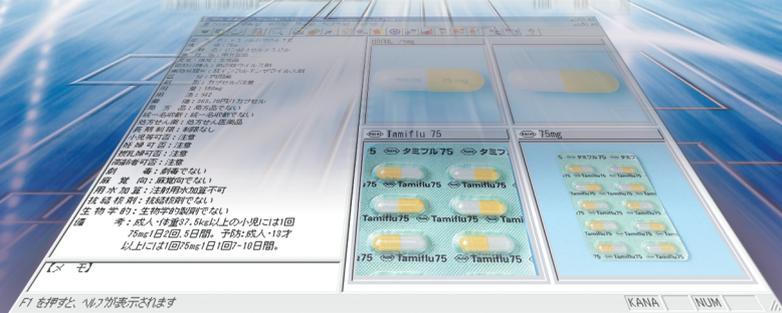
電話(03)3407-8831 FAX(03)3407-9557 URL: <http://www.nyk.gr.jp>

メール: info@nyk.gr.jp

編集/印刷:株式会社サイバーランド 編集協力:上野 昭敬

インターネット経由で 更新できます。

ブラウザ上からガイドに従ってクリックするだけで、
好きな時にリアルタイムで迅速な更新が可能です。



全薬価収載医薬品の情報を網羅したデータベース大薬師・薬師が、
インターネット経由でいつでも好きな時に、最新データにリアル
タイムで更新できるようになりました。

■基本情報の項目を追加

1. 「局方品」表示
2. 「統一名収載」表示
3. 「処方せん医薬品」表示

■相互作用の詳細データを追加

■その他の新機能

1. 各種データの差分更新ができる
2. 写真の差分更新ができる
3. 薬師プログラムの差分更新ができる
4. インターネット経由の更新ができる

薬歴・指導対応医薬品情報システム

医薬品統括情報システム

大薬師[®]・薬師[®]

ver.4.0



ホームページ <http://www.knl.co.jp>

株式会社 ケンニューメディアラボラトリーズ
〒104-0044 東京都中央区明石町11-6 加健康地ビル
TEL: 03-3545-8331 FAX: 03-3545-8332

(販売元)
株式会社 グローバルビジョン
〒462-0819 名古屋市中区平安2-15-50 第2MSビル
TEL: 052-919-1600 FAX: 052-919-1601
東京営業所 TEL: 03-3545-1615

NEW!

画像監査と数量監査のダブルチェックで
ヒューマンエラーを確実に防止

薬剤監査支援システム



アテルノ



- 画像またはバーコード監査と数量監査のダブルチェックを実現しました。
- 薬剤師さまの監査業務と並行しての運用が可能。
- 一人薬剤師の監査時の不安を大幅に軽減。
- 監査時の履歴集計データをもとに、業務改善の検討などにも期待できます。

NEW!

薬剤師さまのピッキング業務をサポートする
Tiara に、ハーフシートユニットが新登場!



PTP シート全自動薬剤払出機 ティアラ

- 1錠単位まで正確に払い出し、調剤過誤の約7割を占める人為ミスを大幅に低減できます。
- 内服計数調剤業務の合理化により、時間を有効活用。服薬指導業務の充実を図ることも期待できます。
- 在庫数量の正確な把握が可能。余計な端数在庫も生じさせません。

